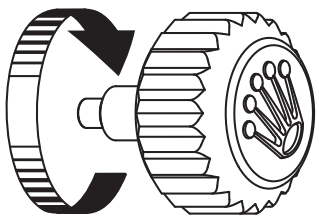
CELLINI

TIME
DATE
DUAL TIME
MOONPHASE

ROLEX

はじめてご使用になる際は

ロレックスをはじめてご使用になる際や、時計が止まった時には
正確に動くようにゼンマイを巻く必要があります。
ゼンマイを巻くには、リューズを反時計回りに回し、
ゆるめた状態で、リューズを時計回りに回します。
（逆に回してもゼンマイは巻かれません）
十分にゼンマイが巻きあがるよう、少なくとも25回転以上
リューズを回してください。着用中は手首の動きによって
ゼンマイが自動的に巻かれます。
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分に
リューズをねじ込んで元に戻してください。



お買い求めのロレックスについているグリーンのタグは、高精度クロノメーターであることを意味します。この独自の称号は、ムーブメントがCOSC（スイス公認クロノメーター検査協会）による公式認定を受けており、さらにロレックスが自社内で行う一連の最終検査を通過したことを証明しています。クロノメーター精度及び、防水性能、自動巻、信頼性を独自に検査することにより、ロレックスは機械式腕時計の卓越性において新たな基準を打ち立てています。さらなる詳細は、**rolex.com**をご覧ください。

チェリーニ

チェリーニ 4-5

操作方法

チェリーニ タイム 各部の名称 6-7
チェリーニ タイムの操作方法 8-9
チェリーニ デイト 各部の名称 10 - 11
チェリーニ デイトの操作方法 12 - 15
チェリーニ デュアルタイム 各部の名称 16 - 17
チェリーニ デュアルタイムの操作方法 18 - 25
チェリーニ ムーンフェイズ 各部の名称 26 - 27
月の満ち欠け 28 - 29
チェリーニ ムーンフェイズの操作方法 30 - 41

ロレックス アフターサービス

お手入れ方法 42-43
アフターサービス 44-45
ワールドワイドサービス 46

ROLEX.COM

47

55
05
ROLEX
GENEVE
Cellini

チェリーニ

伝統的なタイムピースのクラシシズムと不変のエレガンスを讃えるチェリーニコレクションは、ロレックスのノウハウと完璧性を兼ね備え、時代を超えたフォルムが時計製造の伝統を体現しています。

落ち着きのある洗練されたライン、上質な素材、繊細な装飾など、その一つひとつが時計製造における美学そのものといえます。伝統的なラウンドケースは39mm径です。フレア型リューズが洗練されたデザインを際立たせています。
機能の違いによってデザインが異なるダイアルにも、技術と伝統の証を見ることができます。

このチェリーニモデルはクロノメーター認定で、ロレックスの完全自社製造による機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

純然たる伝統的スタイルにより、チェリーニモデルにはレザーストラップが付いています。

チェリーニ タイム 各部の名称

1. 時針
2. 分針
3. 秒針
4. リューズ

1
2
3
4
ROLEX
GENEVE
Cellini
SWISS MADE
55
05
10
15
20
25
30
35
40
45
50

チェリーニ タイムの操作方法

リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。
リューズがこの位置にあるときに、チェリーニ タイムは水深50m（165フィート）までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 — ゼンマイを巻く

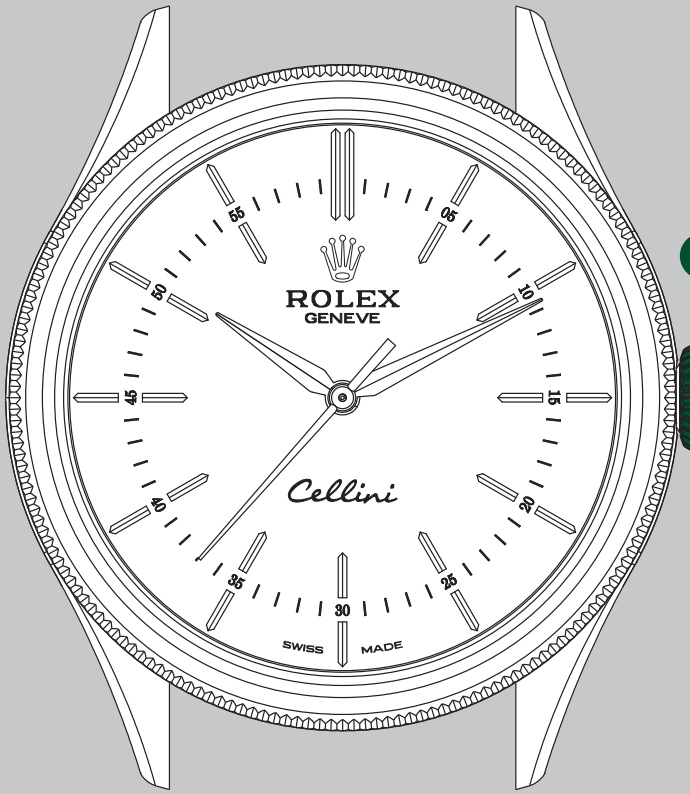
リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回し、ゼンマイを巻きあげてください。

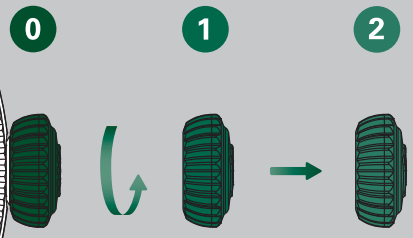
リューズ位置 2 — 時刻を合わせる

リューズを1段階引き出します。
リューズをいずれかの方向に回し時刻を合わせます。
この位置では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。

はじめてご使用になる前に

A. ゼンマイを巻いてください。（*リューズ位置1*）
B. 時刻を合わせてください。（*リューズ位置2*）





リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

チェリーニ デイト 各部の名称

1. 時針
2. 分針
3. 秒針
4. 針による日付表示
5. リューズ

1
2
3
4
5
ROLEX
GENEVE
Cellini
SWISS MADE

チェリーニ デイトの操作方法

リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。リューズがこの位置にあるときに、チェリーニ デイトは水深50m（165フィート）までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 — ゼンマイを巻く

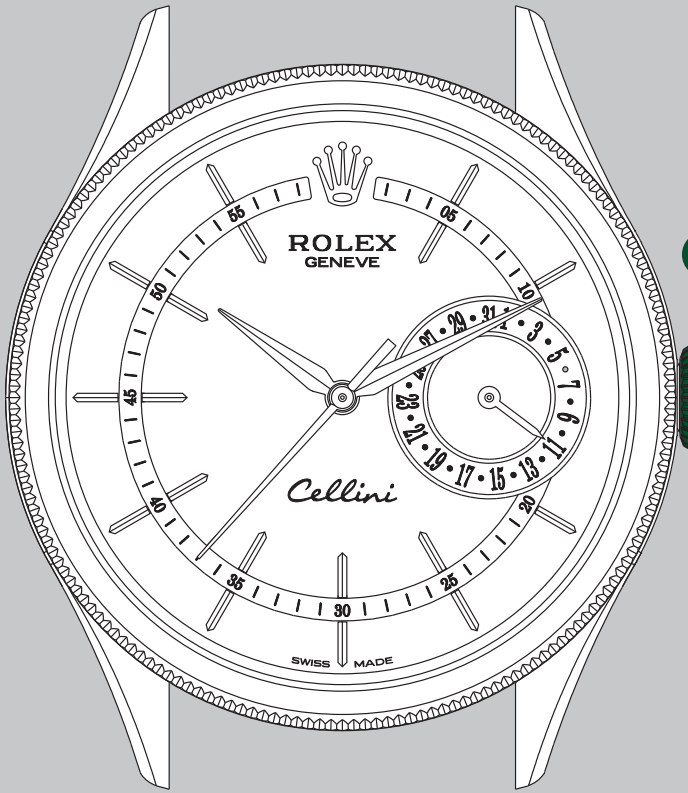
リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回し、ゼンマイを巻きあげてください。

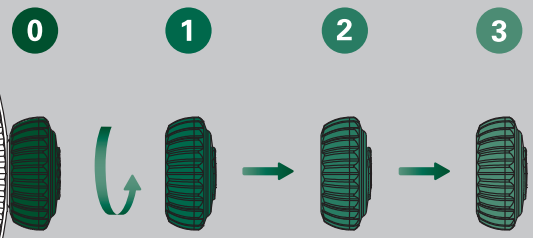
はじめてご使用になる前に

A. ゼンマイを巻いてください。（*P12参照*）

B. 日付が深夜12時に変わることを確認し、針を時計回りに回して時刻を合わせてください。（*P14-15参照*）

C. 日付を合わせてください。（*P14-15参照*）





リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

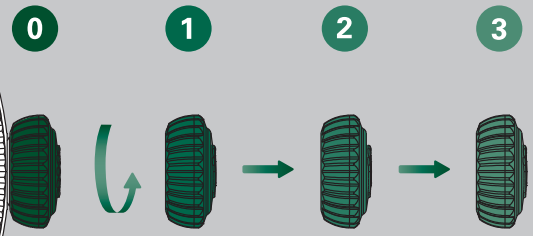
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

リューズ位置 2 — 日付を合わせる

リューズをゆるめ、1段階引き出します。
日付を合わせるには、リューズをいずれかの方向に回します。時針は1時間ごとに進み、1回おきに12時を通過すると日付が1日変わります。
この操作を行っている間も、時計は動いています。

リューズ位置 3 — 時刻を合わせる

リューズを2段階引き出します。
リューズをいずれかの方向に回し時刻を合わせます。
この位置では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。
午前と午後を正しく設定するために、一度、針を12時まで進めてください。日付が変わった場合は、深夜12時を示しています。

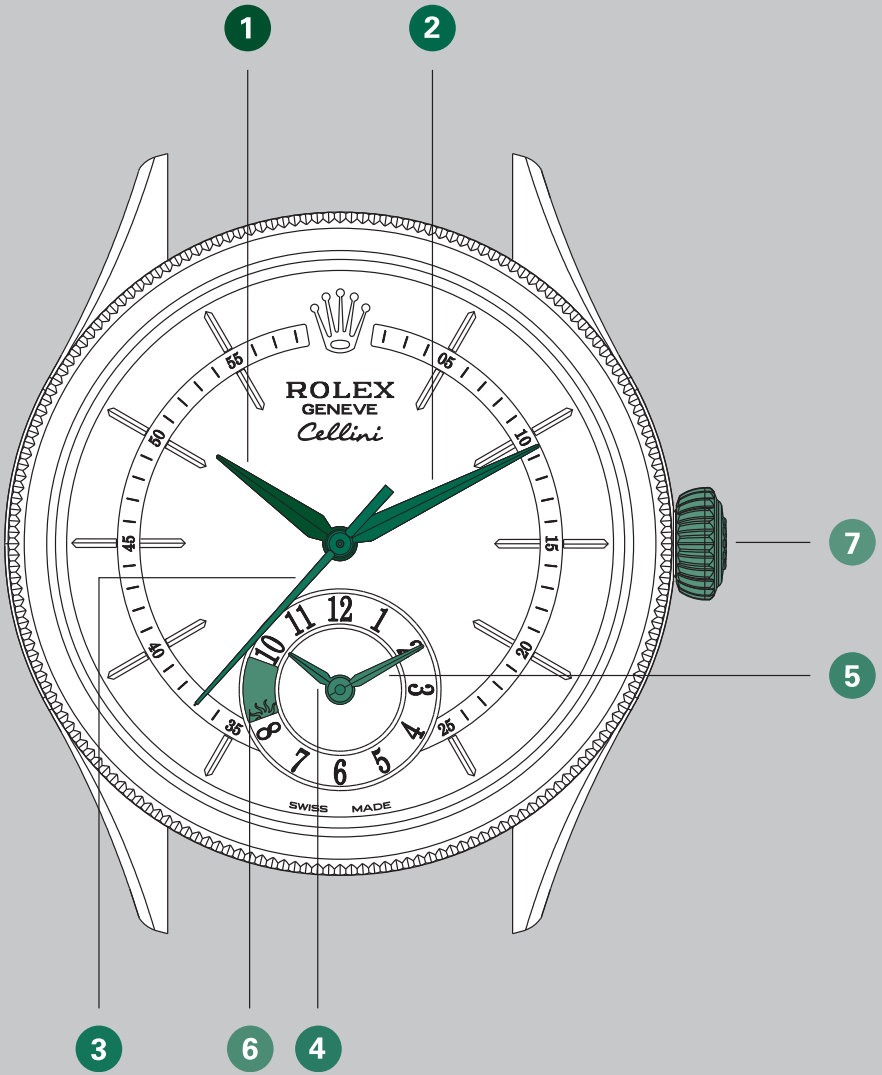


リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

チェリーニ デュアルタイム 各部の名称

1. 時針
2. 分針
3. 秒針
4. 時針（ホームタイム）
5. 分針（ホームタイム）
6. デイ/ナイト表示
7. リューズ


1
2
ROLEX
GENEVE
Cellini
55
05
50
10
45
15
40
20
35
25
12
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
SWISS MADE
7
5
3
6
4

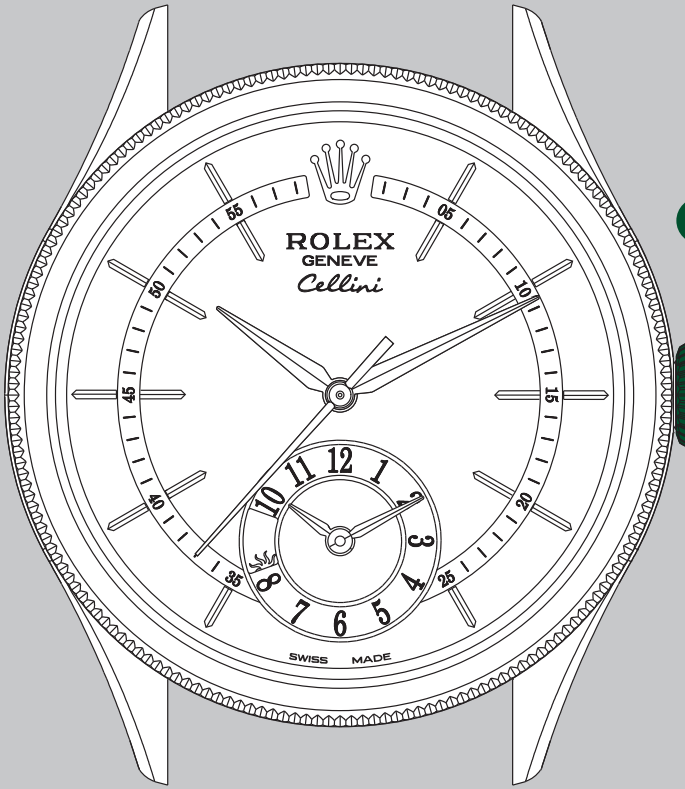
チェリーニ デュアルタイムの操作方法

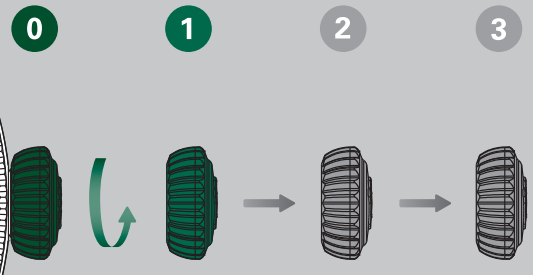
リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。リューズがこの位置にあるときに、チェリーニデュアルタイムは水深50m（165フィート）までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 — ゼンマイを巻く

リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回し、ゼンマイを巻きあげてください。





リューズをゆるめます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

時計の設定は以下のステップで行ってください。

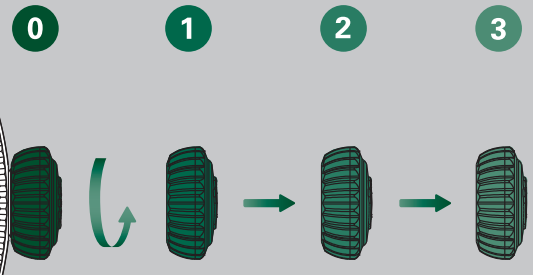
ステップ1. ホームタイム（基準時刻）の設定（*リューズ位置3*）

ホームタイムの設定は以下の手順で行います。

- リューズをゆるめ、2段階引き出します。この位置では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。
- リューズをいずれかの方向に回し、ホームタイムを設定します。デイ/ナイト表示を確認し、午前と午後を正しく設定してください。

ホームタイムをセットすると、センターの時針と分針（ローカルタイム）も動きます。そのため、ホームタイムはローカルタイムを設定する前にセットしてください。

ステップ2へ続く →



リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

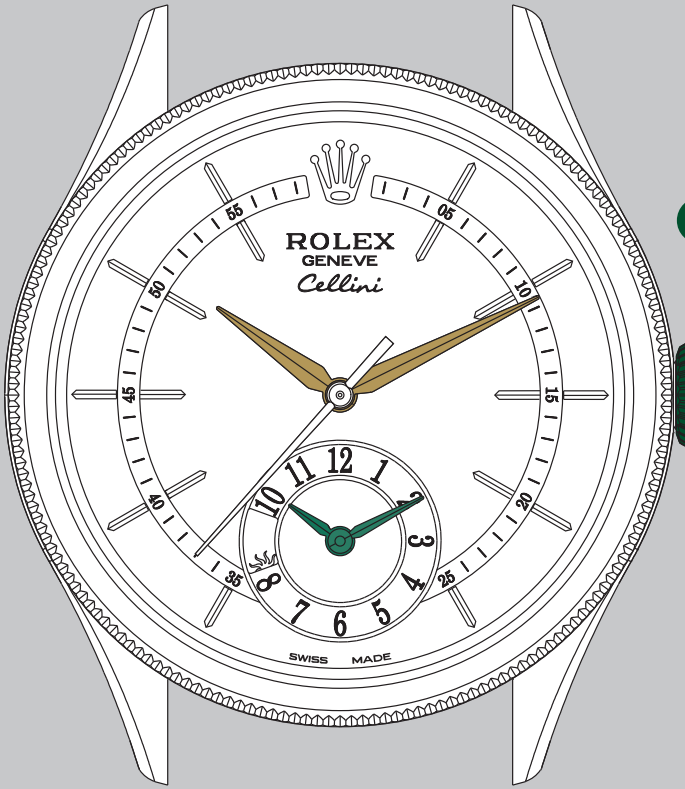
**ホームタイム（ジュネーブ）は午前10時10分*

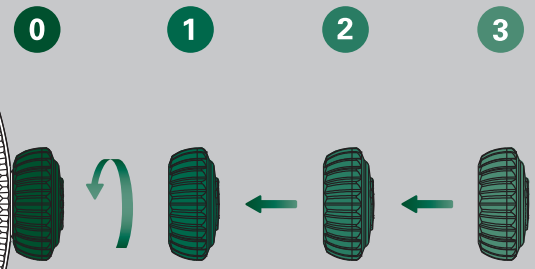
ステップ2. ローカルタイム（現地時刻）の設定（*リューズ位置2*）

ローカルタイムの設定は以下の手順で行います。

- リューズを1段階引き出します。
- リューズをいずれかの方向に回し、ローカルタイムを設定します。時針は1時間ずつ進みます。
- リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。

ホームタイムのタイムゾーンにいる時は、ローカルタイムとホームタイムを一致させておくと、旅行の際に容易に時刻調整ができます。





ケースに押し込みながら、ねじ込む

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

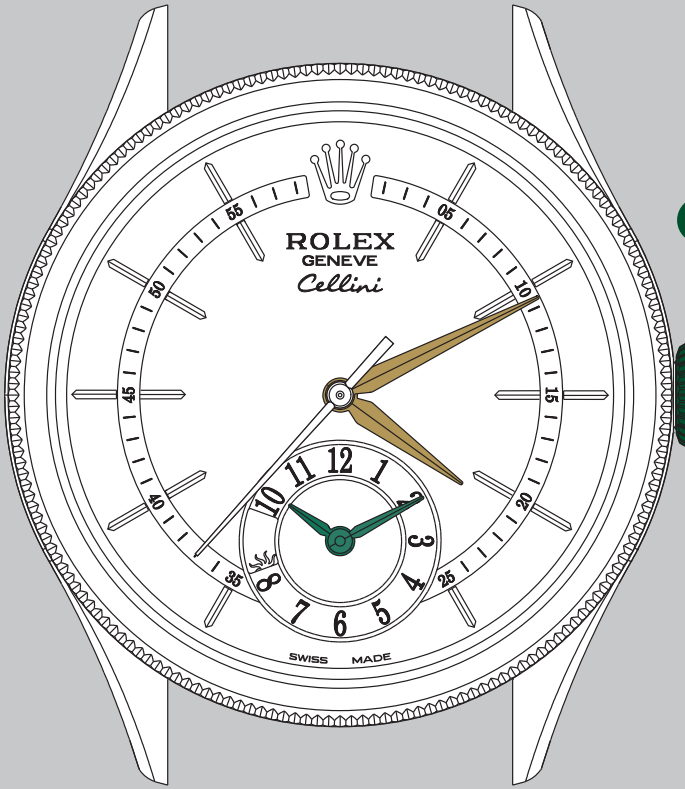
**ホームタイム（ジュネーブ）は午前10時10分*
ローカルタイム（ジュネーブ）も午前10時10分

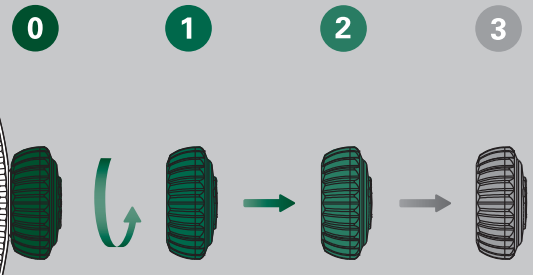
ローカルタイムの変更
（リューズ位置2）

旅行の際にローカルタイムのみ（ホームタイムを変更しないままで）を調整するには、以下の手順で行います。

- リューズをゆるめ、1段階引き出します。
- リューズをいずれかの方向に回し、ローカルタイムを設定します。時針は1時間ずつ進みます。
- リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。

デイ/ナイト表示はホームタイムに連動し、ホームタイムのタイムゾーンの昼夜を読み取ることができます。





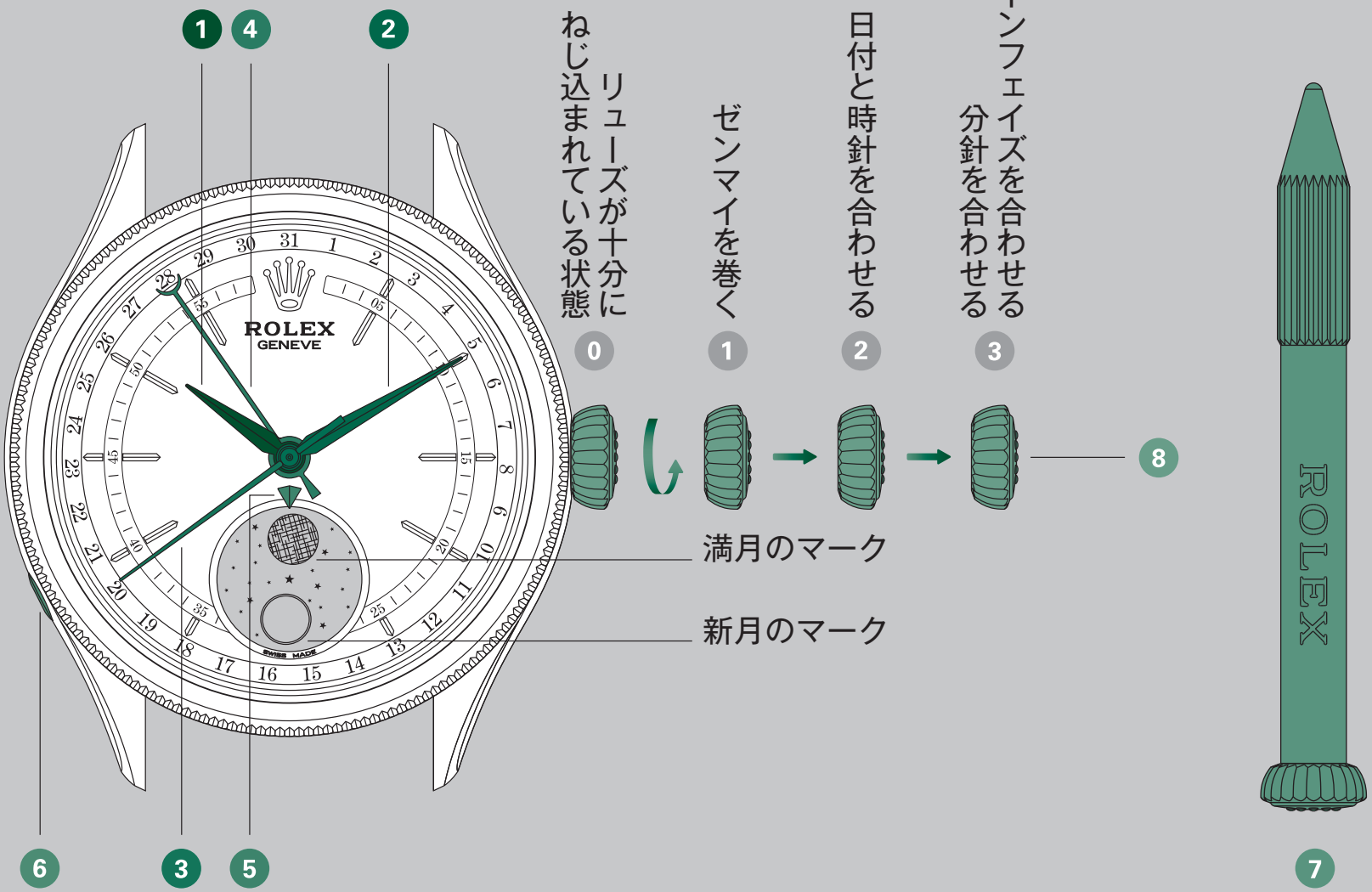
リューズをゆるめ、引き出す

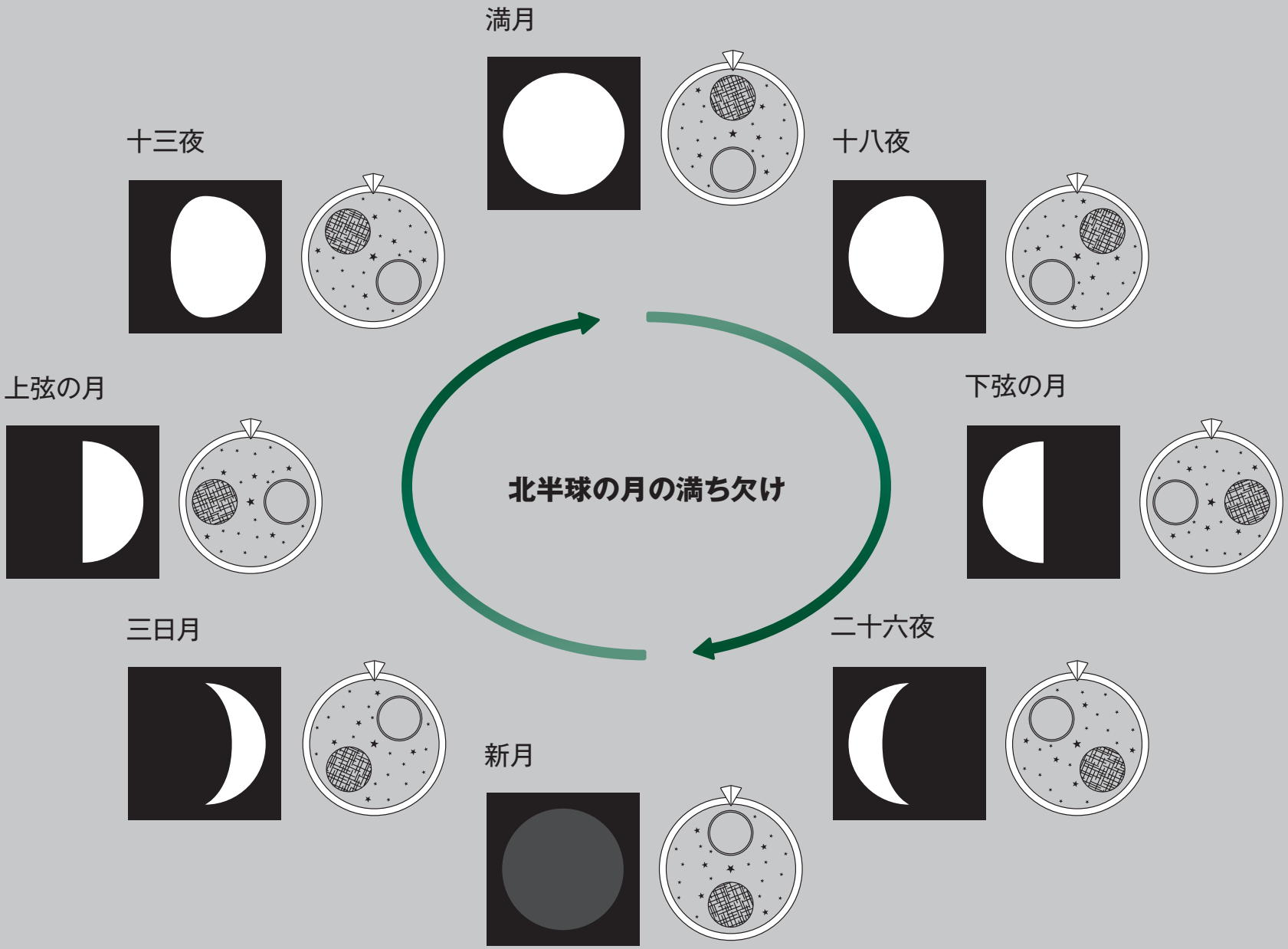
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

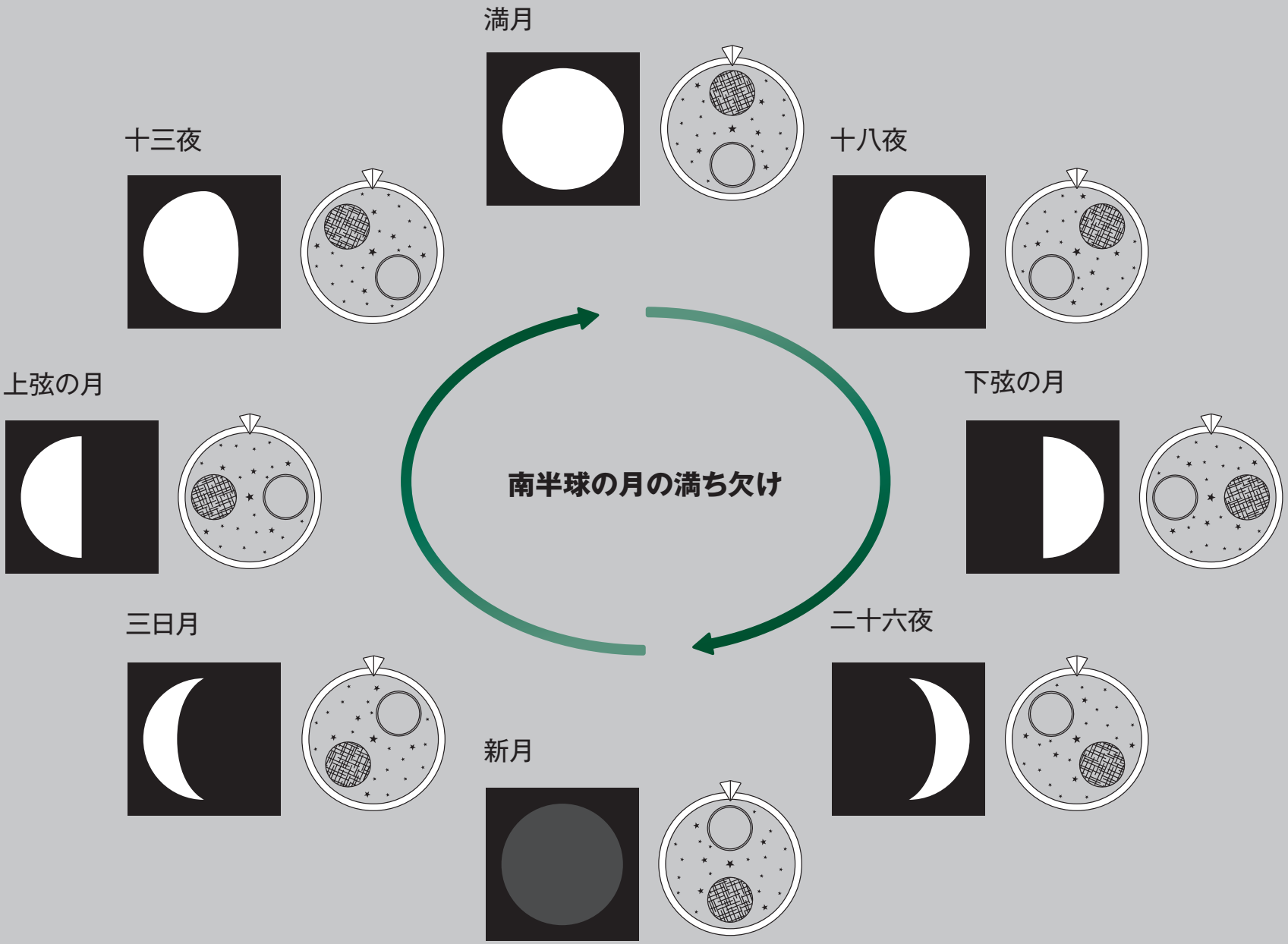
**ホームタイム（ジュネーブ）は午前10時10分*
ローカルタイム（ニューヨーク）は午前4時10分

チェリーニ ムーンフェイズ 各部の名称

1. 時針
2. 分針
3. 秒針
4. 日付を表示する針
5. ムーンフェイズインジケーター
6. ムーンフェイズ調整プッシャー
7. ムーンフェイズ調整ツール
8. リューズ


ムーンフェイズを合わせる
分針を合わせる
日付と時針を合わせる
ゼンマイを巻く
リューズが十分に
ねじ込まれている状態
0
1
2
3
8
満月のマーク
新月のマーク
ROLEX
GENEVE
SWISS MADE
ROLEX
1
4
2
6
3
5
7


満月
十三夜
十八夜
上弦の月
下弦の月
北半球の月の満ち欠け
三日月
二十六夜
新月


満月
十三夜
十八夜
上弦の月
下弦の月
南半球の月の満ち欠け
三日月
二十六夜
新月

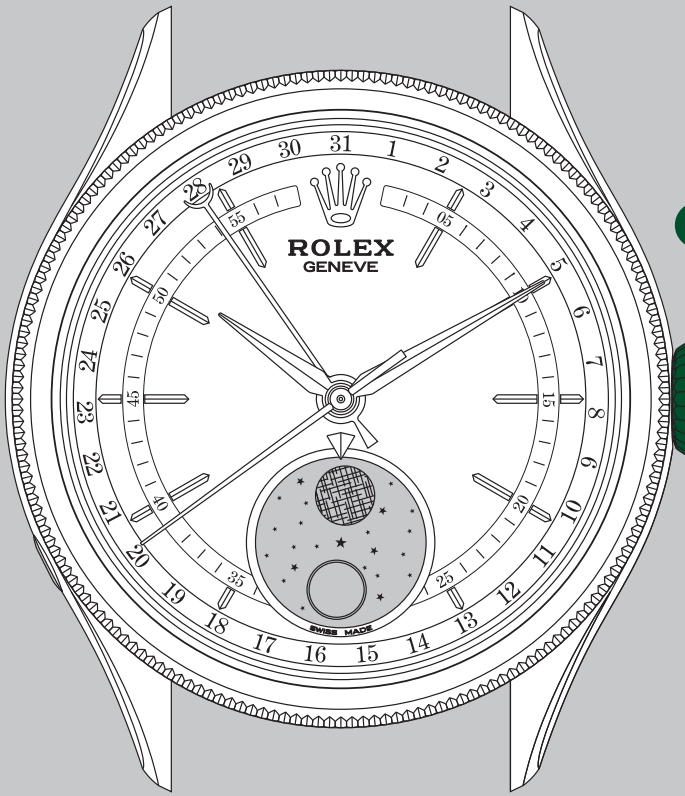
チェリーニ ムーンフェイズの操作方法

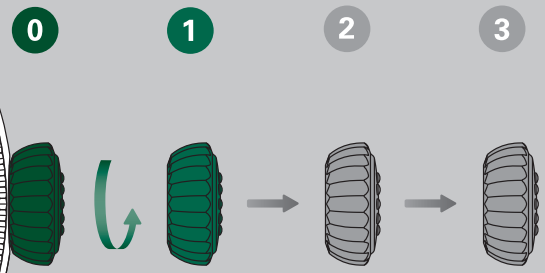
リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。リューズがこの位置にあるときに、チェリーニムーンフェイズは水深50m（165フィート）までの防水性能を保証します。

リューズ位置 1 — ゼンマイを巻く

リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回し、ゼンマイを巻きあげてください。





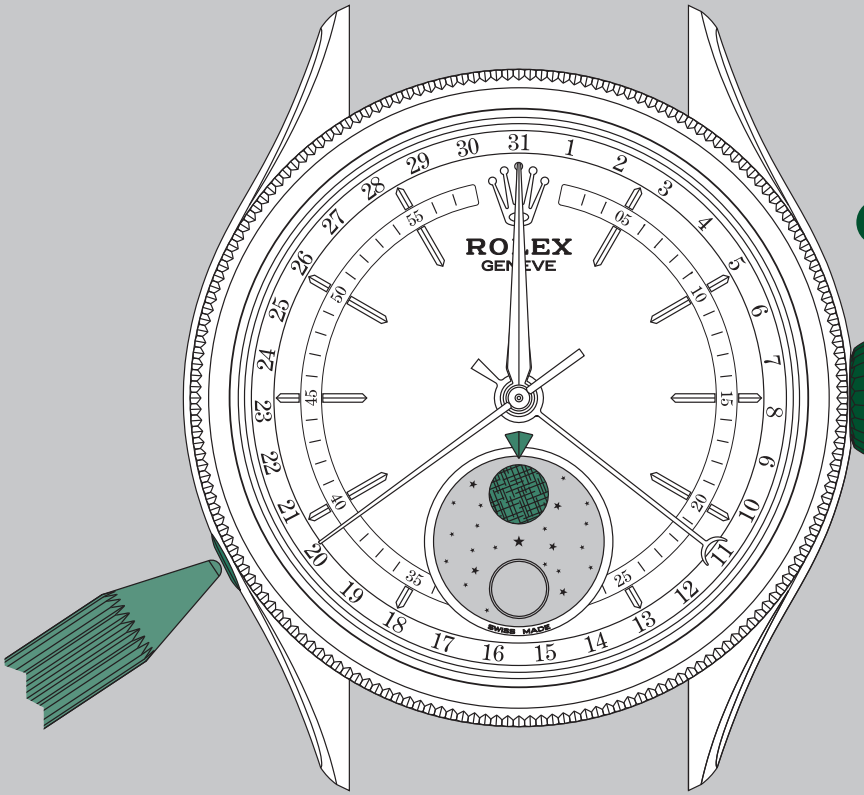
リューズをゆるめます。

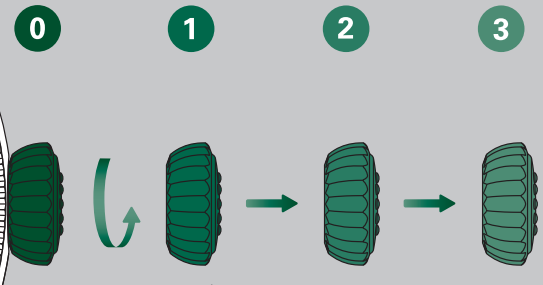
防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

以下の3つのステップで設定してください。

ステップ1.ムーンフェイズを合わせる

- ムーンフェイズ調整ツールを使用します。
- 必要な回数だけムーンフェイズ調整プッシャーを押して、満月のマークをムーンフェイズインジケーターとできるだけ一直線に並ぶように合わせます。
- リューズをゆるめ、2段階引き出します。(*リューズ位置3*)。
- リューズをいずれかの方向に回し、満月のマークとムーンフェイズインジケーターの位置を微調整します(必要に応じて、数回まわしてください)。
- リューズをいずれかの方向に回し、分針を12時の位置に合わせます。





リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

- その年の月齢カレンダーを参照し、最後に満月だった日を調べます。
- その満月の日から現在の日付（当日を含む）までの日数を数えます。
- その日数分だけ、調整ツールを使ってムーンフェイズ調整プッシャーを押します。ムーンフェイズの設定はこれで完了です。

例：

今日の日付が3月28日とすると、最後に満月だったのは3月12日です。満月から今日まで16日間（28-12）が経過していることになるため、調整プッシャーを16回押す必要があります。

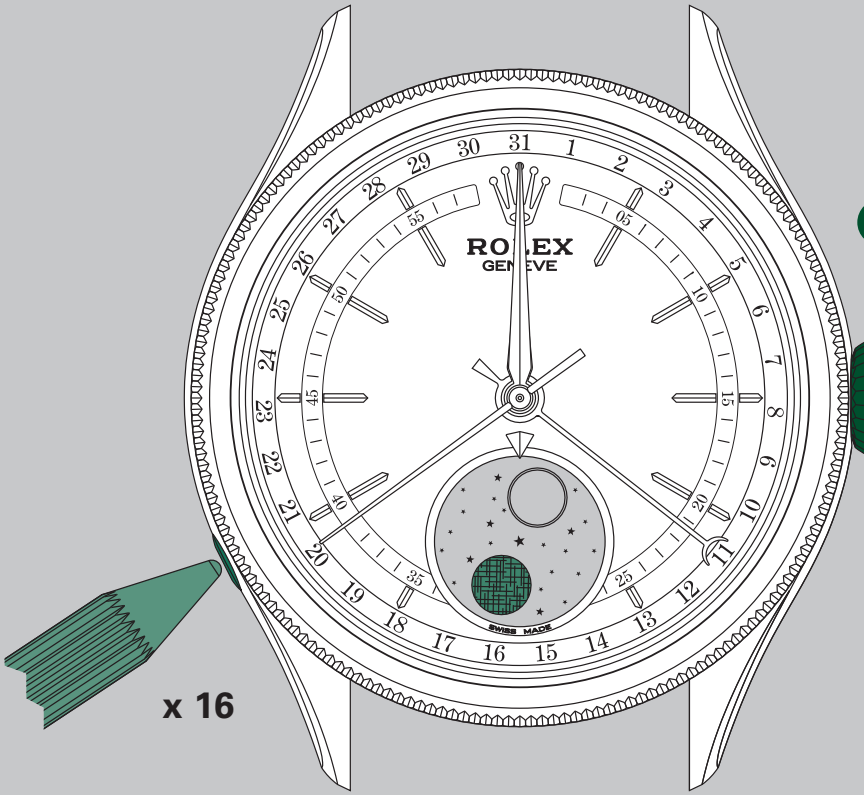
回数を押し間違えた場合は、ステップ1からもう1度設定をやり直してください。

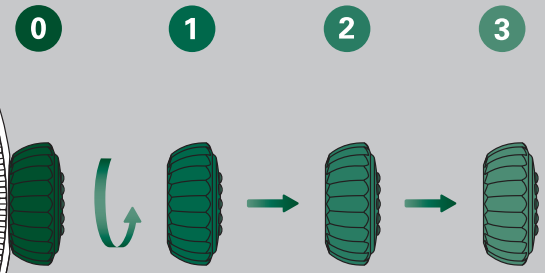
ステップ2に進む →

MARCH

12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28

16 days





リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

ステップ 2. 日付と時針を合わせる

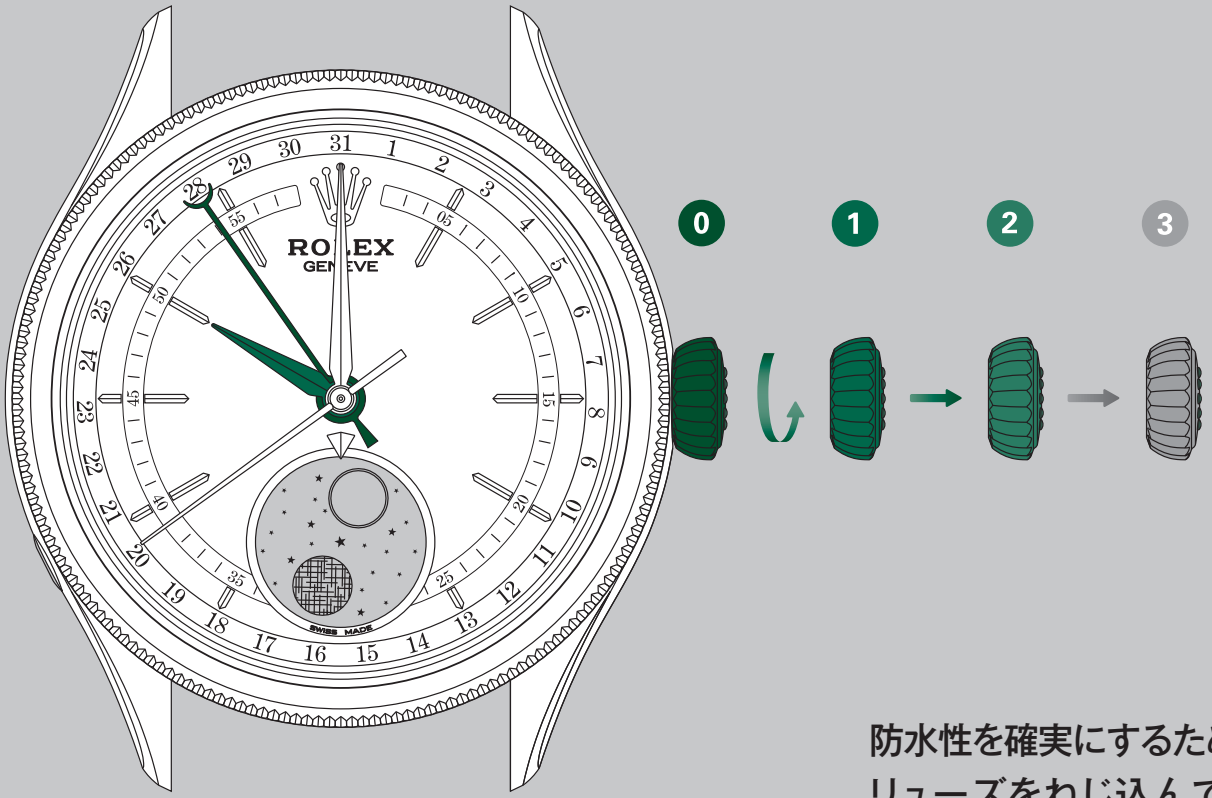
- リューズを1段階引き出します（*リューズ位置2*）。
- リューズをいずれかの方向に回して日付を合わせます。時針は1時間ごとに進み、1回おきに12時を通過すると日付が変わります。

例：

ステップ1の例において、日付は28日に設定されています。

- リューズをいずれかの方向に回して時針を合わせます。時針は1時間ごとに進みます。この時、午前と午後の違いに注意してください（日付は針が深夜12時を経過した時点で変わります）。

ステップ3に進む →

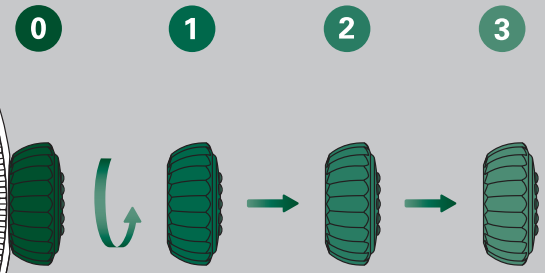


防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

ステップ 3. 分針を合わせる

- リューズを2段階引き出します（*リューズ位置3*）。この時点では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。
- リューズをいずれかの方向に回して分針を合わせます。その他の機能（時間、日付、ムーンフェイズ）も連動します。
- リューズを押し込み、最後までねじ込みます。

時計が正しく連動していた場合は、その時計が止まってから2日以内であれば、リューズを2段階引き出すだけで（*リューズ位置3*）、調整が可能です。リューズを時計回りに回し、日付、時間、分の順で合わせてください。
その際、ムーンフェイズも連動します。



リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

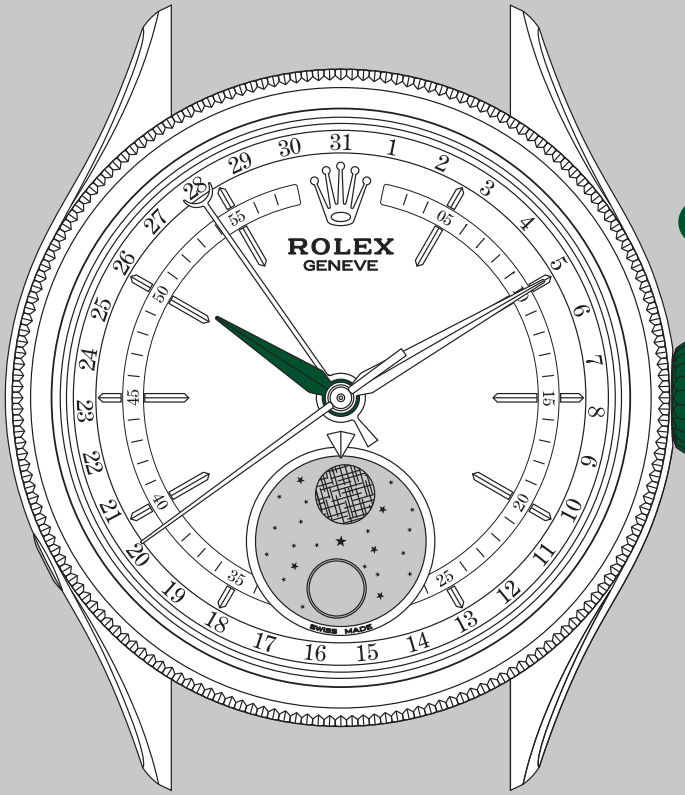
ローカルタイム（現地時刻）の変更

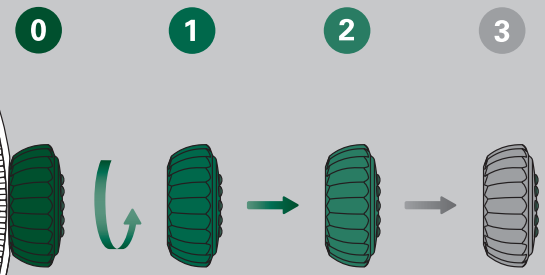
旅行の際、ローカルタイムを調整するには、以下の手順で行ってください。

- リューズをゆるめ、1段階引き出します（*リューズ位置2*）。
- リューズをいずれかの方向に回し、ローカルタイムを合わせます。時針は1時間ごとに進みます。
- リューズを押し込み、最後までねじ込みます。

現地時刻を変更すると、ホームタイム（基準時刻）に合わせて動いているムーンフェイズと現地時刻は連動しなくなります。

旅行から帰ってきた際、現地時刻を元に戻せば再びムーンフェイズと連動するようになります。





リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、 *1の位置* までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

お手入れ方法

日々の簡単なお手入れによってご愛用のロレックスをより良い状態に保つことができます。

必要に応じて、柔らかい布(マイクロファイバークロス等)で拭いてください。ケースは柔らかいブラシと石鹸水で洗うことも可能です。お手入れの際は、防水性を確実にするために、リューズが最後までねじ込まれていることをご確認の上、行ってください。

レザーストラップをより良い状態で保つために
水分や湿気にご注意ください。

アフターサービス

ロレックス ウォッチが最適な性能を保ち、精度と信頼性、防水性能におけるロレックスの厳しい条件を長きにわたり満たすために、ロレックスでは万全のアフターサービス体制を整えています。

時計が正確に時を刻み続けるために、ロレックスが特別に開発した高性能な潤滑油が使用され、摩擦を軽減し、部品の摩耗を防いでいます。正確性と防水性能の維持を確実にするために、ロレックスでは定期的なオーバーホールをお薦めしております。オーバーホールはロレックス正規品販売店またはロレックス サービスセンターで受け付けており、ロレックスのウォッチメーカーが承ります。

オーバーホールでは、ケース、ブレスレット、ムーブメントといった全ての構成部品が分解され、入念に検査されます。

ムーブメントは完全に分解され、すべての部品が綿密に点検されます。ロレックスの品質基準を満たしていない部品は新しい部品に交換されます。ムーブメントは再度組み立てられる際に注油されます。ケースとブレスレットは本来の仕上げに従って、ポリッシュ仕上げまたはサテン仕上げが施され、傷などが取り除かれ、輝きと光沢を取り戻します。

最後の工程で、時計の機能、防水性能、パワーリザーブおよびムーブメントの精度を確認するために一連の検査が行われます。

オーバーホールを終えたロレックスには、サービス保証書が発行されます。

ワールドワイドサービス

ロレックスの正規品販売店とサービスセンターは世界100カ国以上にネットワークを広げ、ロレックスのサービスセンターにはトレーニングを受けた熟練のウォッチメーカーがいます。

ロレックス正規品販売店では時計の機能やアフターサービスに関するご相談も承っております。
ブレスレットのサイズ調整やオーバーホールについては、ロレックス正規品販売店やサービスカウンターまたは日本ロレックス サービスセンターにご相談ください。

ロレックスの正規品販売店およびサービスカウンター、サービスセンターについては **rolex.com** でご確認ください。

ROLEX.COM

rolex.com では時計の機能や品質、ロレックスの技術、ブランドの価値観などをご紹介しています。

ようこそ、ロレックスの世界へ。

Rolex reserves the right to modify the models illustrated in this publication at any time.

© Rolex SA, 3-5-7, rue François-Dussaud, 1211 Geneva 26, Switzerland
4.2021

ROLEX